

機能追加

1 これまでの協議経過

(1) 動画配信

① 議場改修調査特別委員会の報告

- ・ 議員懇談会では、特別委員会の「動画配信は導入すべき」という中間報告に対して賛成する意見が多かったが、費用対効果や住民ニーズなどの調査不足が指摘され、再協議事項とした。

○委員会調査中間報告書

(4) 設備関係

② 映像配信システム

委員から、「本委員会において設置の是非について協議すべき」という提案があったので委員会に諮ったところ、3人の委員がこれに賛成し、さらに、当該委員は設置すべきという意見であったため、委員会としては、設置すべきという案に取りまとめた。

ただし、「本委員会で協議すべきものではない」とした2人の委員からは、「議会改革に関するものであるから全議員で協議すべき案件であり、本委員会で扱うものではない」「設置の是非を議論する以前に、全員協議会または議員懇談会で確認すべき」という意見がだされた。

なお、配信方法（中継・録画）など詳細については、議論していない。

○委員会調査報告書

(2) 議員懇談会において再協議とされた事項

② 映像配信システム

本委員会の中間報告での導入すべきという意見に対する賛成意見が多かったが、他方では、本委員会で議論すべき事項ではないという意見もあり、また、費用対効果や住民ニーズなどの調査不足が指摘されたため、再協議として取りまとめられた。

② 採択した令和5年請願第1号の趣意

- ・ 三種町議会は、「議会の動画配信を行うこと」に賛成の意思表示をした。

○町民に開かれた議会にするための取り組みを求める請願

1. 町民が議会の審議状況を広く共有できるよう、議会の動画配信を行うことにするとともに、議場の改修に当たっては配信のための設備を整備すること。
2. (略)

(2) 会議タイマー

○ 議場改修調査特別委員会の報告

- ・ 議員懇談会では、特別委員会の「会議タイマーを導入する」という中間報告に合意した。

○委員会調査中間報告書

(4) 設備関係

④ 会議タイマー

発言時間を把握できるためのタイマーを導入する。

○委員会調査報告書

(1) 議員懇談会において合意に至った事項

⑤ 会議タイマー

発言時間を把握できるためのタイマーを導入する。

2 合意している事項

(1) 動画配信

- ・ 動画配信を行う。
- ・ ただし、配信方法（中継・録画）など詳細については、議論していない。

(2) 会議タイマー

- ・ 会議タイマーを導入する。
- ・ ただし、動画配信の機能によっては、不要となる。

3 動画配信に必要なシステム

(1) 議場映像音響システム

- ・ 事務局が発言者のマイクON及びカメラ動作を管理するシステムである。
- ・ カメラで撮影した映像は議場内モニターに映すことができるため、傍聴席からも、自席で発言する議員の正面からの様子を視認できるようになる。
- ・ また、議場内モニターには、発言の残時間も表示できるため、別途会議タイマーを用意する必要はなくなる。
- ・ さらに、庁舎内モニターを設置した場合は、議場・傍聴席外の職員または来庁者も、議会の会議を視認できるようになる。

○株式会社レスター様の製品の特徴（令和6年6月24日デモ体験）

- ・ ワンマン運用が可能なため、議会運営の省力化を実現
- ・ PCを使用しない業務専用機なため、故障の少ない安定したシステムを実現
- ・ リモート接続による迅速診断・障害対応が可能であり、万全なサポート体制を実施
- ・ ユーザーの要望に応じたカスタマイズが可能

○東光コンピュータ・サービス株式会社様・株式会社会議録研究所様の製品の特徴（令和6年10月31日製品説明）

- ・ 複数機器（カメラ・マイク・テロップ等）をまとめて簡単操作
- ・ 残時間表示等、議会中継の機能がひとつに
- ・ 省スペース・エコなシステム

○神戸総合速記株式会社様の製品の特徴（令和6年11月18日製品説明）

- ・ 議場カメラやマイクの切替え、テロップ挿入などを一元操作
- ・ 発言残時間表示、出席議員数入力、電子投票などの議事進行支援
- ・ インターネット用データを送出し、ネット配信が可能に

○株式会社アキタネット様・株式会社フューチャーイン様の製品の特徴（令和6年12月19日製品説明）

- ・ 設備に合わせて機器を選択、システムにて制御可能
- ・ 操作・メンテナンスが簡単で職員の負担を軽減
- ・ 信号がわかればどこのマイク・カメラでも連携可能

（２）議会映像配信システム

- ・ （１）で得られた映像を、インターネット配信するシステム・サービスである。
- ・ 配信方法は、ＬＩＶＥ（リアルタイム配信）とＶＯＤ（録画配信）がある。

○株式会社ジェイ・フィット様の製品の特徴（令和6年6月24日デモ体験）

- ・ 配信クラウドの二重化・全国閉域網VPNにより、安定した視聴が可能
- ・ 自治体のHPに合わせた配信HPレイアウトの作成が可能
- ・ ＬＩＶＥ配信では、遡り追っかけ再生機能（約4分）があり、また、音声認識表示ソフトウェア（株式会社JVCケンウッド様の製品）との連携が可能
- ・ ＶＯＤ配信では、会議録のデータを字幕表示する機能があり、また、会議録検索システム（株式会社東北議事録センター様の製品）との連携が可能

○東光コンピュータ・サービス株式会社様・株式会社社会議録研究所様の製品の特徴（令和6年10月31日製品説明）

- ・ アプリ不要のマルチデバイス対応
- ・ 安心の大容量対応のストリーミング配信
- ・ AI音声認識エンジンによるＬＩＶＥ／ＶＯＤ字幕サービス

○神戸総合速記株式会社様の製品の特徴（令和6年11月18日製品説明）

- ・ 高画質・安定した配信環境
- ・ 多様な（キーワード・時間指定・発信者別）検索機能
- ・ ＬＩＶＥ・ＶＯＤ配信が可能で、モバイル対応

○株式会社アキタネット様・株式会社フューチャーイン様の製品の特徴（令和6年12月19日製品説明）

- ・ マルチデバイス対応
- ・ ＬＩＶＥ・ＶＯＤ配信が可能で、同時接続数1,000人対応
- ・ デュアル配信により安心安全な配信を実現
- ・ 低コスト、高可用性のシステムを提案

4 委員の意見【令和6年9月2日時点】

- ・ 議場のバリアフリー化のため、議場が他の施設に移転することになった場合も想定した上で議論すべき。
- ・ 「ニーズがあるから動画配信する」という考えではなく、時代の変化として、「積極的な情報発信のために動画配信する」ものとする。
- ・ 動画配信するのだから、バリアフリーの範囲を考えるべき。
- ・ 動画配信とバリアフリーの議論は連動している。
- ・ 議場に来なくても自宅等で動画配信を観られるのは、障害者にとってもよいこと。動画配信を優先的に協議すべき。
- ・ 動画配信のうち録画配信では、観たい情報が短時間で観られるので、導入すべきと思う。
- ・ 動画配信の範囲も協議すべき。
→ 「5 動画配信できる会議の種類」参照

5 動画配信できる会議の種類

- ・ 議会が会議を行う施設のうち、議会が動画配信に必要なシステムを設置できる施設は、議場である。
- ・ 議場で行う会議は、本会議・予算決算特別委員会全体会・全員協議会である。

6 概算費用

(1) 議場映像音響システム

- ・ 初期導入費用 1,300万円～2,300万円
- ・ 保守管理費用 53万円～93万円（年額）

○共通仕様

- ・ 令和6年11月1日現在の見積とすること。
- ・ 初期導入費用と保守管理費用に分けること。
- ・ 年間使用時間は48時間とすること。
- ・ カメラは3台とすること。
- ・ 議場内モニターは3台（目安）とすること。
- ・ 議場内モニターに発言残時間が表示できること。
- ・ 当町議会のマイク（TOA製品）と連動できること。

○各社仕様

- ・ 議場内モニターについては、共通仕様を参考とし、各企業が最適と判断した台数・サイズで積算されている。
- ・ 企業によっては、本町議会が導入したマイク（TOA製品）の仕様等を確認できなかったため、自社製品のマイクにより積算している。

(2) 議会映像配信システム

- ・ 初期導入費用 0円～310万円
- ・ 保守管理費用 11万円～22万円（月額）

○共通仕様

- ・ 令和6年11月1日現在の見積とすること。
- ・ 初期導入費用と保守管理費用に分けること。
- ・ 年間使用時間は48時間とすること。
- ・ LIVE・VODのいずれも使用するものとすること。
- ・ LIVE字幕・VOD字幕のいずれも使用するものとすること。

○各社仕様

- ・ 企業によっては、初期導入費用を設けず、保守管理費用で賄うこととしているものもある。

7 委員の意見【令和6年11月28日時点】

(1) 動画配信の方法（中継・録画）

- ・ 中継配信と録画配信を行う。
 - 中継配信はインパクトがあるし、中継で観られなかった人には録画で観られるようにすべき
- ・ 録画配信を行う。
 - 経費が高額なため財政面を考慮し、また、運用に当たっての事務局の負担も勘案すれば、段階的に進めるべき

(2) 動画配信の対象（本会議・予算決算特別委員会全体会・全員協議会）

- ・ 本会議・予算決算特別委員会全体会・全員協議会を配信する。
 - 今の議会の姿や内容について、町民に具体的かつ詳しく伝えるべき
- ・ 本会議を配信する。
 - 財政面を考慮し、また、議員・事務局・当局が慣れるためにも段階的に進めるべき

(3) 会議タイマー

- ・ 議場映像音響システム等の機能により整備する。
 - 議場映像音響システムの機能を活かすのが経済的にも合理的なため

8 委員会案の中間集約【令和6年12月10日時点】

(1) 動画配信の方法（中継・録画）

① 中継配信と録画配信を行う。

→ 賛成者5人

② 録画配信を行う。

→ 賛成者8人

(2) 動画配信の対象（本会議・予算決算特別委員会全体会・全員協議会）

① 本会議・予算決算特別委員会全体会・全員協議会を配信する。

→ 賛成者5人

② 本会議を配信する。

→ 賛成者8人

(3) 会議タイマー

- ・ 議場映像音響システム等の機能により整備する。

→ 賛成者12人

9 パブリックコメントの実施

(1) 実施期間 令和7年2月14日（金）～3月14日（金）

(2) 実施方法 町ホームページに掲載

- ・ 議会だより2月号（パブコメ用紙を挟む。）により事前周知を図る。
- ・ 中間集約した委員会案に対する町民の意見を募集する。
- ・ 意見募集は、議会事務局へのメール及び本庁・支所に受付箱を設置して受付ける。
- ・ 氏名・住所が明記されたものを議会への意見として取扱う。

(3) 委員会案 ① 動画配信の方法は、次のとおりとする。

- ・ 録画配信を行う。

② 動画配信の対象は、次のとおりとする。

- ・ 本会議を配信する。